



議会だより かどがわ



毎年恒例の裸参り(中山神社)

もくじ

補正予算	2P
一般質問	4P
条例改正等	6P
臨時議会	8P

平成22年2月
NO. 121

補正予算、契約、条例改正などについて勉強会が開かれ、各担当課から説明がありました。

一般会計補正予算の主なものとして、庁舎内のパソコン110台とコピー機2台などの電算管理整備管理事業に2,186万円、また、児童措置事業は、町内の私立保育園児の入所者が50名増えた分などに4,300万円や西門川小中学校の存続、登下校の児童の安全、安心を考慮して、スクールバス購入事業の738万円。

契約では、栄ヶ丘団地の第二期事業として、5階建ての20戸を建設するものです。入札については、計8社による指名競争入札を実施し、その結果、上田・藤田建設共同企業が落札し、契約額2億4,564万円です。

主な質疑応答

問 児童措置費の委託料600万円の内容は。

答 日向市の9園、延岡市の7園に広域保育所入所の委託料として支出する。当初26人で現在33人なので、3月までを推計しての補正である。

問 児童措置費の補助費（私立保育園運営費）の内容は。

答 町内の私立4園は、4月に比べ50名増加している。12月1日までの児童数は543名。3月までを推計しての補正である。

問 スクールバスについて、7月に提案してから今回までの5カ月間にどのような検討があったのか。

答 教育委員会で十分検討を行い、地域の



国民健康保険特別会計の歳入の過大積算について

国民健康保険事業の歳入となる国庫支出金と県支出金の算定を誤り、今年度と昨年度でそれぞれ約2億円を過大積算していたことが、9月に判明しました。その原因は、昨年度から始まった後期高齢者制度などの算定を従前の方法で行ったことでした。また、20年度に1億円の繰越金1億円があつたため歳入不足にならなかつた。

今後の対応につきましても、不足した2億のうち1億円は、一般会計から国民健康保険特別会計に繰り出し、来年度から繰り出す返付する。10年かけて返済する。残る1億円は、国の保広域化等支援基金から、2年間据え置きで2012年度から5年かけて償還することとした。

主な質疑応答

問 国民健康保険特別会計の過大積算について、計2億円の借入をしないでいいことを町長はどのように考えているのか。

答 積算を誤るといふ単純なミスがあつたというよりは、誠に残念なもので、国保を運営するものとしては非常に反省している。まずは平成21年度は早急に借入れをして、決算がきちつちりできるようにして、もつと中身を精査しながら取り組みたい。

問 国保特別会計の町長の所感は。

答 就任当時から国保の運営が厳しいという事は認識しており、また、何年も税率を上げていなかつたので、引き上げをお願ひせざるを得なかつた。まずは平成22年度の予算編成に向け

今後の国保の運営はどうなるのか

門川町の国保会計の問題をしっかりと精査して取り組むことと、長期的には制度的な問題も含めて、今後の国保運営をすすめる必要があると考えている。

問 不景気の中、国保税率が2年連続引き上げられた上での過大積算問題。町長は町民への説明責任があると考えているか。

答 まず国保審議会の皆さんに審議事項ではないが、内容をすべて報告するつもりだとお伝えした。

問 来年度も国保税を上げるのか。

答 まだ精査が必要。検討を重ねて、国保税率は据え置きとしたいと考えている。しかし、どうしても必要になれば負担していただくことになるかもしれない。

補正予算の主な事業の審議過程

一般会計補正予算 5億1,634万円を追加し 総額67億7,625万円で可決



今回から一般質問席が中央になりました

平成21年第4回定例会は12月8日から12月15日まで8日間開かれ、今議会において、諸報告5件、他、諮問1件、契約1件、条例改正1件、その他5件、補正4件が審議され、原案通り可決されました。また、陳情2件につきまは、1件が採択、もう1件は継続審査となりました。

一般質問では、12月9日に4名の議員が登壇し、町政について論戦が行われました。

歳入		歳出	
地方交付税	3億2,065万円	電算管理整備事業	2,186万円
国庫支出金 (地域活性化・経済危機対策臨時交付金1,956万円含む)	3,084万円	財政調整基金への積立金	2億円
県支出金	5,415万円	国民健康保険事業特別会計への財政安定化繰出金	1億円
国民健康保険事業特別会計へ繰出すための財政調整基金	1億円	障がい者福祉事業	5,114万円
その他	797万円	児童措置事業	4,300万円
		森林整備地域活動支援交付金	1,027万円
		漁業振興特別対策事業	1,747万円
		スクールバス購入事業	738万円
		読書の杜推進事業	268万円

特別会計補正予算	
歳入	
国民健康保険事業	26億4,162万円(9,086万円増額)
前期高齢者交付金	8,346万円
共同事業交付金	7,687万円
国から来る予定の交付金の過大積算による一般会計からの1億円の追加及びその他	362万円を減額した繰入金
町債	1億円
国庫支出金(減額)	2億175万円
県支出金(減額)	4,355万円
繰越金(減額)	2,098万円
歳出	
保険給付費	3,239万円
後期高齢者支援金等	1,225万円
共同事業拠出金	3,708万円
諸支出金	981万円
老人保健拠出金(減額)	50万円
介護給付金(減額)	38万円
予備費(減額)	99万円
後期高齢者医療事業	3億2,787万円(266万円総額)

一般質問

4人の議員が登場！

振興券で消費拡大は 図れたか



黒木 裕

町長..
経済や消費の
大きな刺激に
なった

問

補正予算まで組んで行った産業地域振興券事業の検証について伺いたい。

- ① 振興券の換金状況は。
- ② 換金の多かつた職種、事業所の分析は。
- ③ 事業目的はどのくらい図れたのか。
- ④ 今後、振興券事業を行うのか。

町長

- ① 11月末日で99・6%、残り29万1千円が未換金。
- ② 卸・小売業が殆どを占め、医療関係、水道設備関係、等々幅広く利用された。
- ③ アンケート調査では

大半の事業所において前年同月比増の売上。また、聞き取り調査においても、売上増との結果が出ており、消費者側からも大変喜ばれ、また実施して欲しいとの声も伺っている。事業目的に対し大きな効果が出ているものと考え、経済や消費の大きな刺激となったことは事実である。

④ 今後、消費者の声、商工関係団体事業所の声などを勘案しながら、また経済動向を見ながら必要があれば必要な時に取り組んでいく。

国保の危機的状況の対策は

水永 正継

町長：国保財政の再建安定化計画を作る必要がある



問

門川町の国民健康保険税は昨年度20%、今年度18%値上げされ、町民はこの不況下で重い負担に苦しんでいる。一方、町は国民健康保険の基金も取り崩してしまい、財政は危機的状況である。このような中、町として将来に向けての構想を伺いたい。

町長

昨年度、門川町の国保税、医療費の一人当たりの負担額は県内の中間くらいに位置している。現在の国保の制度では、中間くらいの保険税を取り、中間ぐらいの医療費を払った場合、毎年1億円ぐらいが不足する構造になっている。

問

国の医療費の負担割合を現在の38%から元の45%に戻すことが大事だと思うが。

町長

適切に思う。

外国人研修制度について

問

自国への技術移転を建前とした「研修生・実習生制度」で来日する外国人が増えているが、実際は不当な条件の下で働かされ、人権を著しく侵害されている場合が全国各地で多発している。門川町の実態はどうなっているのか。

町長

一部の企業が安価な労働力として、賃金不払い、時間外労働など不正行為の問題なども取りざたされている。

町の誘致企業である安井株式会社については中国から、研修生が7名、実習生が17名来ているが、人権、労働条件については「外国人模範受け入れ企業」として認定を受けているので、十分な対応が行われていると認識している。

職務を怠っていた職員を昇格させているが



神崎 千香子

町長：町の懲罰規定にはあたらない

町長

町職員である社会福祉協議会の局長が何年にもわたり、労基法違反、社会保険もつけず、法令違反も放置されていた。町の指導に疑問もある。

問

また町は、これらの職務を怠っていた職員を処分するどころか、昇格させている。

問

これでは、職員の資質向上どころか、逆に士気の低下になるのではないか。

問

町が雇用責任者か。

問

社協で給料など払えば社協の事務的なことになるが、研修派遣となると、任命権者はやはり町となる。

問

町職員が、何年にもわたってずさんな会計処理をしていたことに、きちんとした対応をすべきではなかったか。

町長

出向職員については、一職員として、実地研修である。すべてが出向職員の責任ではない。

問

委託料の一番の責任者は町ではないか。

町長

委託料がちゃんと使われているかはきちんと確認している。

問

積算根拠625円が450円しか払われず、未保険、最低賃金違反も町に関係ないということか。

町長

社会福祉協議会とこの職員の契約の問題である。

「心の教育推進宣言の町」を定めては

安藤 福松

教育長：十分に研究して参りたい



問

文部科学省が発表した全国の国公私立の小中学校の問題行動調査によると、学校いじめが十万件を越え、暴力行為は「生徒間暴力」が三二、四四五件で過去最多となっている。この憂慮すべき事態に、「心の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間を目指し、学校、家庭、地域、職場が一体となり、人格の醸成を目指し、「心の教育推進宣言の町」を打ち上げてみてはどうか。

教育長

文部科学省の少年非行に関する調査の結果を見ると、誠に深刻な問題であり、早急にその解決に向けて対応する必要があると考えている。かつて本町は、少年非行等に関わる厳しい状況にあったことや、現在のIT革命がもたらした社会の中で人間本来の生き方を喪失していることなどの

ご指摘、さらに、「ドイツの哲学者「カント」の言葉を引用されて、人間の人格完成を目指すことの大切さや基本的な考え方について説かれたが、町民が高い品性や教養のある人格の完成を目指すことは極めて重要である。

子育て支援本部が中心になって、放課後児童クラブ、家庭教育支援や不登校対策など問題を抱えた子ども達の心身の悩みを解消する活動等を積極的に展開している。特に学校教育では、「心豊かで真に生きる力」を持つ人間像を目指し、道徳教育や高齢者との世代間交流事業、読書の杜事業による親子の絆を深めるブックスタートなど、情緒豊かな青少年の育成等に努めている。今一度、現在行っているスポーツ少年団活動など、学校教育及び社会教育等の各種の施策をしっかりと吟味しながら、教育推進を十分研究して参りたい。

諮問

人権擁護委員
道前和子氏(再任)

契約

栄ヶ丘団地町営住宅
建替事業第二期建築
主体工事請負契約に
ついて(賛成多数)
カギ田団地建替の
第二期事業を国及び
県より建設計画の変
更承認を得て、5階
建てのC棟20戸を
2カ年に亘り建設す
るものです。
*住戸形式は、1
LDK10戸(2戸は車
イス対応)、2LDK
10戸

契約金額
2億4,564万円
契約相手
上田・藤田建設
共同企業体

条例改正

門川町道路占用料徴
収条例の一部を改正
する条例について(全
員賛成)

本町の道路占用料
は、前回改正から10
年経過しており、そ
の間に地価下落等の
経済情勢が変化して
いることから、国県
の改定に併せて、本
町の占用料を今回見
直すものです。

その他

◎延岡市との定住自
立圏の形成に関する
協定の締結について
(全員賛成)

人口定住のために、
延岡市と周辺(宮崎県
北部広域行政事務組
合が構成する)8自治
体が相互の意思を尊
重し合いながら、地
域全体が魅力的で活
力に溢れ、持続的に
発展することを目指
し、中心的な役割を
果たしていくことを
宣言した中心市宣言
に本町も賛同したも
のです。今後、対等
の立場で延岡市と本
町の意思で1対1の
協定を締結し、十分
な協議を行っていく
ものです。

◎日向市との定住自
立圏の形成に関する
協定の締結について
(全員賛成)

人口定住のために、
日向市を中心とした
周辺(日向東白杵南部
広域連合が構成する)
4町村が、連携・交流
を図りながら、圏域
内の住民に対して積
極的な各種サービス
を提供することなど
により、圏域全体に
必要な生活機能を確
保し、将来にわたつ
て安心して暮らし続
けられる魅力ある地
域づくりに資するこ
とを宣言した中心市
宣言に本町も賛同し
たものです。今後、
対等の立場で日向市
と本町の意思で1対
1の協定を締結し、
十分な協議を行って
いくものです。

◎宮崎市町村総合事
務組合を組織する地
方公共団体の数の減
少及び宮崎県市町村
総合事務組合組合規
約の一部改正につい
て(全員賛成)

◎宮崎県自治会館管
理組合を組織する地
方公共団体の数の減
少について(全員賛
成)

◎宮崎県後期高齢者
医療広域連合を組織
する地方公共団体の
数の減少について(全
員賛成)

3議案は、平成22
年3月23日に宮崎市
が宮崎郡清武町、ま
た小林市が西諸県郡
野尻町と合併するこ
とにかかるものです。

陳情

国民健康保険財政へ
の国庫負担割合を医
療費総額の45%に戻
すことを求める意見
書採択に関する陳情
(全員賛成)

意見書

国民健康保険財政へ
の国庫負担割合を医
療費総額の45%に戻
すことを求める意見
書(全員賛成)

改正貸金業法早期完
全施行並びに個人及
び中小事業者救済の
ために自治体での多
重債務救済制度充実
等を求める意見書(全
員賛成)

電源立地地域対策交
付金制度の交付期間
延長等を求める意見
書(全員賛成)

文教厚生常任委員会
学校調査報告

今年度からブックスタート事業を開始したことで、
読書の大切さに対する意識が高まっていることを受
け、10月6日(火)町内各小中学校の図書館の状況につ
いて、調査のため各学校を訪問しました。

調べ学習に支障

各学校では、読書
の習慣を学校におい
ても家庭においても、
身につけさせるよう、
朝の読書時間を設け
たり、ひと月に読む
本の目標を設定した
りして、読書にたい
する意識向上を図つ
ているとのこととし
た。

西門川小学校は、
図書館の蔵書が少な
いように見受けられ
ましたが、月二回の
町立図書館からの移
動図書館で補ってい
るとのことでした。
図書館については、
広さが学校によって

書架や図書の不足

異なり、クラス全員
での調べ学習にも支
障をきたしている学
校もありました。
また、書架の不足
や、図書の不足、古
さも感じられました。
さらには、設備につ
いて、書架や机・イ
スの高さが子どもの
背丈にあっていない
ように感じられるも
のもありました。

全校平等に

このように図書管
理においてばらつき
があり、児童生徒に
とって公平ではない
と思われまますので、
全校平等に足並みを
そろえるのが望まし
いと思われまます。

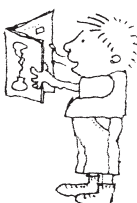
委員からの意見

また学校設備全般について次のよう
な意見が委員から出されました。

- 職員室等の空調設備を整備すべきではな
いか。
- 以前から雨漏りし、耐震強度の点でも危
険だと思える木造建築物を使用している
のは、検討する必要があるのではないか。
- 体育館の照明交換・階段の照明交換・樹
木の剪定などは定期的な実施が必要では
ないか
- 教室の壁の破損・扉の破損などの修繕は
すぐに対応すべきではないか。
- 消耗品費は不足しないようできる限り確
保すべきではないか。
- 運動場の排水等、計画的に改善に取り組
むべきではないか。

定期的な
メンテナンスを

まとめとして、校
舎や教室など、定期
的なメンテナンスや
補修工事が必要な個
所が見受けられまし
た。担当課において
は、今以上に学校を
訪問し、学校施設の
隅々まで点検して、
児童・生徒が安全に、
そして安心して毎日
の学校生活を送り、
学力向上に取り組め
るよう特段の注意を
払うことを要望する
ものであります。



臨時議会

11月4日

南町保育園改築について

南町保育園改築事業補助金 9千64万8千円の補正予算を7対6で否決しました。(南町保育園の審議経過は、次ページで報告)

契約議案

本町の浸水被害解消のための下水路の管路及び排水ポンプ施設の内、バイパス管路の吐口部の建設工事で全員賛成で可決されました。

本町下水路の浸水被害解消のための建設工事5,080万円

土工事、函梁工事、仮設矢板工事、ゲート工事、護岸工事 入札結果 株式会社長谷川組

11月6日

新型インフルエンザについて

新型インフルエンザ優先接種対象者の接種費用の負担軽減を図るための補助金 2,279万円を全員賛成で可決しました。

内容

☆低所得者にたいしては対象者接種費用の全額補助1,522万円と町単独事業757万円 ☆町単独事業は市町村民税課税世帯でも妊婦、1歳から高校生年齢相当の者1歳未満の小児の保護費を対象に1回2,000円、2回接種は一人4,000円補助



11月26日

一般職員の給与に関する条例改正について

門川町の一般職の給与、期末勤勉手当、特別職の期末手当を引き下げるとの条例改正を賛成多数で可決しました。

内容

月例給を平均0.2%引き下げ、期末勤勉手当は12月分を0.15%引き下げ、35月分を2.20月分とする。今年6月に期末勤勉手当0.2月分の引き下げとあわせて年間職員一人あたりの引き下げは12万2千円で全体では1,920万円の引き下げ。 町議会議員、町長など特別職の期末手当0.10月分引き下げ

問

給与の目安となるラスパイレース指数は、

総務企画課長 平成20年4月1日現在で、門川が93.0日向市 101.2 延岡市 100.7 県内の町村の平均94.1 県内の市町村の平均97.7である。

問

生活圏が同じである日向・延岡よりも低く、県の平均よりも低いが、どう考えているのか。

町長

近隣市町村よりも低いことは従前から認識している。その上で今後の給与改定や評価などに対応し、できるだけラスパイレース指数を適正な位置になるように取り組むべきと考えている。

問

町民生活を考慮した検討があったのか。

地域一帯の就業賃金とか雇用情勢、民間の給与体系等を考慮した上での対応が義務付けられているため、常に認識しながら対応している。 実際には、門川町だけでなく地域全体が全国の中でも所得が低いことは事実なので、それを踏まえて勧告を受け止めている。

問

反対討論 生活が益々厳しくなる。国が豊かになるには国民のふところが増えなくてはならない。 全国・県に比べても特に門川町は低いのでさらに低くするのは厳しい。周りに合わせて引き下げるのではなく、国の政策が悪いために国民が豊かにならないというところに目を向けるべき。よって反対する。

賛成討論

今の厳しい町内の雇用状況で町民生活が本当に厳しい状況がひしひしと伝わってくる。人事院勧告どおりの引き下げが妥当か難しいところだが、今後特別職に対する報酬審議会があるように一般職についても「審議会」を設けたらどうかという提言を含めて、賛成する。



南町保育園補助金 9,064万8千円 (総事業費1億9,488万円)

7対6で再々否決

町長提案要旨

南町保育園は、老朽化して、雨漏りが止まらないことに合わせて、次世代育成支援後期行動計画のニーズ調査で、病児、病後時保育は最もニーズが高いものになっています。

質疑

問 雨漏りの修理もせず、見逃している。ただちに修理すべきではなかったか。

町長

年次的に雨漏りが発生している場合は修理している。

問

予備費まで使っても出さなければならぬ緊急なことか。

町長

予備費というのは、緊急的なものだけでなく、順次、当初予算で、上程できなかつた分に使うもの。

問

理事長の県議は、

子育て支援対策委員、文教厚生委員も兼ねておられる。南町保育園には、年間6100万円、いすず保育園には、8700万円運営費をやっている。町民感情として疑問がある。

町長

理事長がだれであるとうと、純粹に子どものため、保護者のため取り組んでいる。

問

2回否決の議決の重さをどう受け止めたのか。

病後時保育は、病院跡地とか空き店舗、中央保育園など、総合的な検討をしたのか。

反対討論

今回の提案は、2度の否決を無視して議会軽視も甚だしい。本来なら、1度めの否決のとき、広く町民に問うべき。 病後時保育は、中央保育園、町内の空き施設などを利用するなど工夫し、福祉計画を練り直すべき。 また西門川中学校の校舎(木造)など、雨漏り、老朽化で教育委員会は「使用禁止」にしているから、代替校舎がないため未だに使用している。 町は教育施設などに早急な手立てをすべきである。

賛成討論

予算に関するのみ賛成討論する。一般財源を予備費で使ったとの議論だが、補正予算については、一般財源として予備費を次の予算に備えるというのが、財政ルールであり、適正な運用であり、適切な予算措置がなされていると考え賛成する。

町長

社会福祉法人の管轄と監査も県なので、県が労働条件についてもきちんと把握していると思う。

問

民間委託に関する町長の考えは。

町長

民間委託の流れは時代のすう勢。

問

労働条件として、パートではなく正規雇用で、採用してほしいとの声があるが。

町長

地元の保育士が働く場としてきちんとしていきたい。

町長 明かり通りの窓部分から、雨漏りがす



子安観音(庵川)



成人式



子ども相撲(中村)



1月22日、安田修議長の辞職に伴い、議長選挙が行われました。
その結果、安田茂明議員が議長に決定しました。

議長の選挙が行われました

12月議会では、町民の方が育てた盆栽を議場に飾らせていただきました。
ありがとうございました。
次回の議会は3月です。
皆様の傍聴を心よりお待ちしております。
お問い合わせ先議会事務局
TEL 63-1140
(内線271)



議会傍聴のご案内

編集後記

梅の花が満開の季節となりました。初春の花に町の将来を思います。

今年は町長選挙があり、門川町にとって重要な年になります。

国民のくらしは、今なお不況から抜け出せない状況ですが、お互い健康に気をつけていきましょう。

みなさんに分かりやすい議会便りをめざして今年もがんばります。

議会広報編集特別委員

